

教科	科目	単位数	学年	集団
商業	ビジネス基礎	2	1	ビジネス探究科

使用教科書	副教材等
ビジネス基礎 新訂版 (実教出版)	ビジネス基礎 新訂版 準拠問題集 (実教出版)

科目の目標
商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

評価の観点とその趣旨	
①知識・技能	ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけている。
②思考・判断・表現	ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。
③主体的に学習に取り組む態度	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
評価方法	
知識・技能・・・定期試験、単元テスト 思考・判断・表現・・・定期試験、単元テスト 主体的に学習に取り組む態度・・・定期試験、単元テスト、成果物	

学習計画						
月	項目	単元	単元や題材などの内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	商業の学習とビジネス	1章 商業の学習とビジネス	①商業の学習及びビジネスの概要について理解している。 ②商業を学ぶこと及びビジネスの意義と課題について、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展と関連つけて見いだすことができる。 ③ビジネスの基礎的な事項について自ら学び、ビジネスに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○
	ビジネスに対する心構え	2章 ビジネスとコミュニケーション	①ビジネスに対する心構えについて実務に即して理解するとともに、関連する技術を身につけることができる。 ②ビジネスの場面を分析し、科学的な根拠に基づいて、ビジネスにおいて他者に対応するとともに、情報を入手して活用し、評価・改善することができる。 ③ビジネスに対する心構えについて自ら学び、ビジネスに主体的かつ協働的に取り組むことをしている。	○	○	○
5	中間試験			○	○	○
	企業活動	5章 企業活動の基礎	①企業活動について経済社会における事例と関連つけて理解している。 ②企業活動に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考案し、表現することができる。 ③企業活動について自ら学び、企業活動に関する事例などを踏まえ、企業活動に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○
6	経済と流通	3章 経済と流通の基礎	①経済と流通について経済社会における事例と関連つけて理解している。 ②経済と流通に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考案することができる。 ③経済と流通について自ら学び、経済の基本概念を踏まえ、流通と流通を支える活動に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○
	期末試験			○	○	○
7	経済と流通	4章 さまざまなビジネス 5節 物流業 8節 飲食サービス業・娯楽業・宿泊業	①経済と流通について経済社会における事例と関連つけて理解している。 ②経済と流通に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考案することができる。 ③経済と流通について自ら学び、経済の基本概念を踏まえ、流通と流通を支える活動に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○

9	経済と流通	4章 さまざまなビジネス 5節8節以外	①経済と流通について経済社会における事例と関連つけて理解している。 ②経済と流通に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考案することができる。 ③経済と流通について自ら学び、経済の基本概念を踏まえ、流通と流通を支える活動に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○
	取引とビジネス計算	7章 ビジネス計算 1節 ビジネス計算の基礎	①取引とビジネス計算について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身につけることができる。 ②取引に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考案することができる。 ③取引とビジネス計算について自ら学び、適切な契約の締結と履行に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○
10	中間試験			○	○	○
	取引とビジネス計算	7章 ビジネス計算 2節 ビジネス計算の応用(第3項の単利法まで)	①取引とビジネス計算について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身につけることができる。 ②取引に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考案することができる。 ③取引とビジネス計算について自ら学び、適切な契約の締結と履行に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○
11	全商ビジネス計算実務検定 普通計算部門					
	取引とビジネス計算	6章 ビジネスと売買取引	①取引とビジネス計算について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身につけることができる。 ②取引に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考案することができる。 ③取引とビジネス計算について自ら学び、適切な契約の締結と履行に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○
12	期末試験			○	○	○
	身近な地域のビジネス	8章 身近な地域のビジネス	①身近な地域のビジネスについて理解することができる。 ②身近な地域のビジネスに関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、ビジネスの振興策を考案して実施し、評価・改善することができる。 ③身近な地域のビジネスについて自ら学び、ビジネスの振興による地域の発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○
1						
2	全商商業経済検定3級					
	取引とビジネス計算	7章 ビジネス計算 2節 ビジネス計算の応用(第3項の複利法以降)	①取引とビジネス計算について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身につけることができる。 ②取引に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考案することができる。 ③取引とビジネス計算について自ら学び、適切な契約の締結と履行に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○
3	学年末試験			○	○	○

※4月から11月の検定までは、授業の冒頭を活用するなどして、普通計算にも取り組む